

第72回「二火会」レポート

令和4年2月8日(火)開催 (開催場所：オンラインのみ)

今回は、6社のベンチャー企業によるビジネスプラン発表を行い、約100名の方々にオンラインで参加いただきました。

- ◆ 県説明 14:05 ~ 14:20
- ◆ 特別講演 14:20 ~ 15:20
- ◆ プレゼンテーション 15:30 ~ 17:15

❁ 県説明

「UXプロジェクト」を契機としたベンチャー支援策の見直しについて
熊本県商工労働部産業振興局産業支援課 政策監 辻井 翔太 氏

❁ 特別講演

「UXプロジェクトにおけるベンチャーへの期待」
一般財団法人機械振興協会 副会長
熊本県 UXプロジェクト計画策定会議委員 後藤 芳一 様

❁ 株式会社くまもとファーマ(4月から株C-HAS+) (熊本市)

熊本大学准教授 首藤 剛 様 (4月から株C-HAS+ 取締役社長)

【事業名】「Cエレガンスを活用した健康寿命の見える化技術を利用した事業展開」

【参加目的】販路拡大・事業提携先獲得

【商品・サービスの概要】

現在、世の中は空前の健康志向ブームであり、健康をテーマにした食品・化粧品・製薬会社は増加の一途をたどります。従来、このような健康関連企業の製品開発では、ヒト試験の前に、マウスやサルなどを用いた動物実験が活用されてきましたが、現在、動物愛護やSDGsの観点から、その代替技術が求められています。

また、そもそも、健康社会の一助となる食材やサプリメントなどは、その機能性がわかっているにもかかわらず、当該素材が持つ健康寿命の延伸能力を評価することはできませんでした。

弊社は、熊本大学発ベンチャー企業として、ヒトの健康を反映する実験動物、Cエレガンス(線虫)を活用した健康寿命の見える化の新技術 C-HAS を活用し、健康関連企業のニーズに応える素材の健康延伸力評価を行います。また、熊本大学が有する天然資源リソースの中から、新たに抗老化に資する有用素材の製品開発を目指します。



🌸株式会社Circulife 〈天草市〉

代表取締役 川原 剛 様

【事業名】「間伐材を原料とする糸・生地の開発と地域活性化事業」

【参加目的】資金調達、販路拡大・事業提携先獲得

【商品・サービスの概要】

石油から作られる化学合成繊維を含まず、天草ヒノキ、小国杉の間伐材や自然由来の原料だけで作られる環境負荷の少ない糸と生地を熊本の企業に提案し、ノベルティや制服などに活用していただくことでCSR活動への貢献、地産地消を促進させます。

価格はオーガニックコットン並みであり、化学合成繊維製品と比べると割高となりますが、地球温暖化を含む環境問題やSDGsを含めアパレル産業において、今後は自然由来の製品需要が更に高まっています。

染色についても化学染料は使用せず、自然由来の草木染めにて行い、県花であるリンドウや栽培面積全国第2位のトルコギキョウから「熊本の色」を製造します。

「天草ヒノキ・小国杉」の生地の製造工程



🌸合同会社プロバイオ 〈阿蘇郡西原村〉

社長 中島 勇貴 様

【事業名】「大学発！乳酸菌の活用による地域貢献と付加価値の創出」

【参加目的】販路拡大・事業提携先獲得

【商品・サービスの概要】

◆ 合同会社プロバイオは東海大学発のベンチャー企業であり令和3年11月に乳酸菌研究のスペシャリストである東海大学准教授の木下英樹(CEO)と大学院生の中島勇貴(社長)が共同で設立。

◆ 1,000種類以上の菌株を保有しており、企業や農家と連携して使いたい食材と求める機能に応じた乳酸菌の活用を進めている。

◆ 一般消費者向けに、10年以上の研究で選び抜いた乳酸菌を使った豆乳ヨーグルトの種菌を販売している。

◆ 大学の商品開発サークルと連携し、企業との商品開発の仲介や新たな発酵食品の開発を実施。



🌸 BugsWell 合同会社 〈長崎県西海市〉

代表 津本 真砂幸 様 由利 真悟 様

【事業名】「代替タンパク質(コオロギパウダー)を使った食品の市場拡大」

【参加目的】経営パートナーの獲得

【商品・サービスの概要】

- ① OEM 先として/ コオロギパウダーを使った弊社オリジナル商品の製造委託
試作段階で商品開発中 15種類 (麺・お菓子・調味料)
- ② ODM 先として/既存商品からコオロギパウダーを使った新しい価値のある商品改良
良質なコオロギパウダーを提供と共同商品開発
- ③ 販売店契約/弊社オリジナル商品の販売契約
商品ラインナップ
生チョコ・コロロチョコ・セゾンコオロギビール
脱脂コオロギパウダー
近日商品化予定
コオロギ味噌・コオロギめか漬け・コオロギ味噌ラーメン
コオロギそば・チーズケーキ・スパイス
- ④ 養殖生産委託先/コオロギの養殖を生産委託契約
社会福祉法人・農業法人・その他企業様へのコオロギ養殖の
生産委託契約



🌸 AGRIST株式会社 〈宮崎県児湯郡新富町〉

取締役兼最高技術責任者(CTO) 泰 裕貴 様

【事業名】「農業用 AI 収穫ロボットとロボットに最適化された再現可能な農業の実現」

【参加目的】資金調達、販路拡大・事業提携先獲得

【商品・サービスの概要】

農家の高齢化が進み農産物の収穫の担い手が不足している課題を、自動収穫ロボットで解決します。弊社のロボットは、構造や機能を極限までシンプルにすることで、低価格での提供が可能で、ロボットを導入することで、農作物の取りこぼしによる木の弱体化を軽減し、収穫量と農業所得を向上します。また、後継者不足が原因で農業を続けていくことができない農家の方も、この収穫ロボットを導入することで、持続可能な農業を実現することができます。

さらに、ハウス内に取り付けられたワイヤを移動する自動収穫ロボットが取得する農作物の画像やセンサデータと、ハウス内の気温、湿度、灌水などを管理する環境制御システムから取得したデータを蓄積・解析します。それらのデータを AI に学習させることで、今まで属人的だった熟練した農家の栽培方法やノウハウを再現し、収益性の高い農業を実現していきます。



❁ KAICO 株式会社 〈福岡県福岡市〉

代表取締役 大和 建太 様

【事業名】「九州大学カイコによる医薬品用タンパク質の開発」

【参加目的】販路拡大・事業提携先獲得

【商品・サービスの概要】

KAICO は九州大学発ベンチャーです。九州大学のオリジナルカイコを用い、これまで入手困難だったタンパク質を生産し、試薬・診断薬・ワクチンを開発します。カイコで作ったタンパク質を用いて経口ワクチンとする特許を出願し、人用・動物用の経口ワクチン開発を行なっています。

また 2020 年に開発した COVID19 のスパイクタンパク質を用いて検査サービスを展開しています。

2021 年 9 月に新型コロナウイルスに対する血液中の抗体量を、個人で測定できる抗体測定サービスを開始し、2022 年 1 月 24 日から企業・団体向けに利用できる抗体測定サービスを開始しました。

この製品は、新型コロナウイルスに対する抗体価を測定することを目的としています。現在新型コロナウイルスに罹患しているかを確認する PCR 検査や抗原検査とは異なり、ワクチン接種後に抗体がどれくらい保持できているかを確認するもので、自宅・会社で自己採血し郵送することにより簡易に抗体価を数値で評価できます。

ワクチン接種後の抗体の保持状況には個人差がありますので、ご自身で管理できることが大きなメリットです。現在3回目のワクチン接種が開始されましたが、前回接種で副反応の経験があり接種を躊躇われる方などには、抗体保有状況をご自身で確認され接種時期の目安を考えていただく補助になります。

また継続的に複数回利用することにより抗体の保持状況が時間を追って確認できることも大きな利点です。



【当日風景】

当日は KKR ホテルにて ZOOM での開催を行いました。



県内の発表企業の方々と司会の橋本様



「UX プロジェクト」について説明をして頂きました
熊本県商工労働部産業振興局産業支
政策監 辻井 翔太 氏



関係機関の方々

第 72 回「二火会」へご参加頂きました皆様ありがとうございました。

次回のご参加も是非よろしく願いいたします。

一般財団法人 熊本県起業化支援センター

〒861-2202 熊本県上益城郡益城町田原2081-10 熊本県テクノポリスセンター内

TEL 096-287-4465 FAX 096-287-4473

URL <http://www.kmj-backup.or.jp/>